



ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書

整備提案名	地域ぐるみで地域開放型コミュニティ・サロンをつくる
提案グループ名	地域開放型サロンを豊岡につくる会
グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績	鶴見駅西口近くのビル1Fのテナント撤退により空き室となったスペースを、所有者の好意により利用できることとなり、区内で活動する市民団体、ボランティア団体、地元商店・商店会、地元自治会、社協などに所属するメンバーが、かねてより必要とされてきたコミュニティ・サロンの実現のために集まり、検討を始めた。当会はスペースの確保ができることが明らかになった段階（4月）に発足したが、メンバーはそれぞれ長年にわたって地域におけるまちづくりや福祉の活動を行ってきている。
整備場所の所在地	鶴見区豊岡町 14-27 ※位置図及び現況写真（別紙）
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか文章で記入してください)	<p>鶴見駅西口、豊岡通り商店街のビル1階を地域開放型コミュニティ・サロンとして整備する。高齢者や障害者、地域の交流拠点であると同時に、トイレや休憩のスペース、地場産品の販売・PR拠点として位置づけ商店街の核施設として整備する。整備の概要は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 休憩・喫茶スペース（喫茶を供するための簡易な厨房含む） ● 障害者、高齢者や子供対応の多機能トイレ ● ミニショップスペース（棚ショップなど） ● 情報コーナー（インターネット、掲示板等） ● 建物周辺の飾花 <p>整備費用の概算額：約1200万円</p>
整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら簡条書きで記入してください)	<p>①背景・動機</p> <p>整備予定の建物はオフィスとして利用されていたものだが、事務所の閉鎖にともないシャッターの閉まったままになっている。駅に近く商店街に面した場所であるため、有効活用が望まれていた。たまたまビル所有者の好意で空きスペースを借りることができることになったため、本事業を活用して地域ぐるみで整備に取り組むこととなったものである。</p> <p>②解決したい地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺には公共施設がなく、ちょっとした休憩やトイレを利用することができないために、買い物客とりわけ高齢者や子供連れにとっては不便である。 ● また障害者が近隣作業所等の終了時から帰宅時間までの間に行き場がない問題などがある。 ● 豊岡通りは最近歩道をバリアフリー化したが、バリアフリーのまちづくりを進める交流拠点、いろいろな主体の協働の拠点として位置付けることができる。 ● 商店街の賑わい拠点として、作業所や住民のクラフトショップ、地域の特産品などの展示販売の場所が望まれている。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>高齢者、障害者、地域住民、買い物客など、多様な人たちの利用を想定しており、商店街や駅周辺を利用する上での利便性、快適性が大きく高まる。また利用者どうしの交流が深まり、共生のまちづくりの一助にもなると考えている。</p> <p>豊岡通り商店街は戦後いち早く復興し、一時は市内でも有数の商店街として賑わいを見せていたが、近年は衰退の兆しがある。最近、歩道をバリアフリー化したり、西口広場でオープンカフェを定期開催する等、様々な取り組みを進めており、このサロンの整備は商店街の活性化にも大きく寄与するものと期待されている。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>維持管理はボランティア団体や地元自治会、商店街が協働して行う予定である。家賃は安く提供してもらえらることとなっており、光熱水費等は利用者による実費負担でまかなう。スタッフは鶴見区文化協会、ボランティア連絡会会員が中心となる予定だが、区民に広く募集することも検討している。</p> <p>提案グループは運営会議を組織して、サロンの運営に共同して責任を負う。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ</p> <p>○提案を実現するために活用する地域の資源</p> <p>○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>商店街の一等地に位置しているため、多目的なサロンをめざしているところが特徴である。バリアフリートイレなど、高齢化社会にふさわしいユニバーサルなまちづくりのコア施設として位置づけ、住民主体でそれを具体化していくことをめざしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヒト……ボランティア団体、地元町会、商店会、社協の協力がある。設計の専門家の協力あり。 ● モノ……什器類は中古品等を安く入手できる ● カネ……メンバー所属団体からの資金支援が得られそう。ランニングコストは利用者から実費でまかなう予定。 <p>西口広場では毎月3回 オープンカフェが開催（西口オープンカフェ協議会）されており、この催しと連携することでさらに地域の魅力アップにつなげたい。オープンカフェは98年から、豊岡通り商店街、西口協議会、市民有志の協働で開催してきた。この経験を活かしていきたい。</p>
<p>整備場所の地権者等への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況</p>	
<p>説明の相手方</p>	<p>相手方の意見等</p>
<p>ビル所有者</p>	<p>ビル所有者は地域活動に理解があり、当面、利用予定がないことから、サロンとして活用することについて快諾を得ている。</p>

記載内容は真実であり、虚偽はありません。

記載内容に個人情報はありません。

整備予定場所の位置図・現況写真



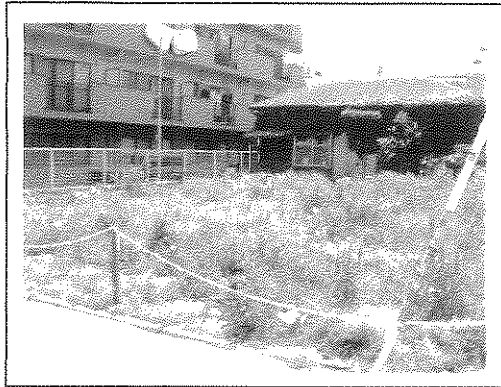
整備予定の建物（現況写真）



西口広場オープンカフェ

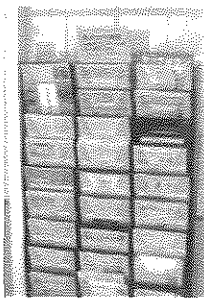
サロン整備とあわせて、花を植えるなど活用できないか。(地主の了解が必要)

豊岡通りから見た建物。右手側が入り口になる予定



整備イメージ

豊岡通



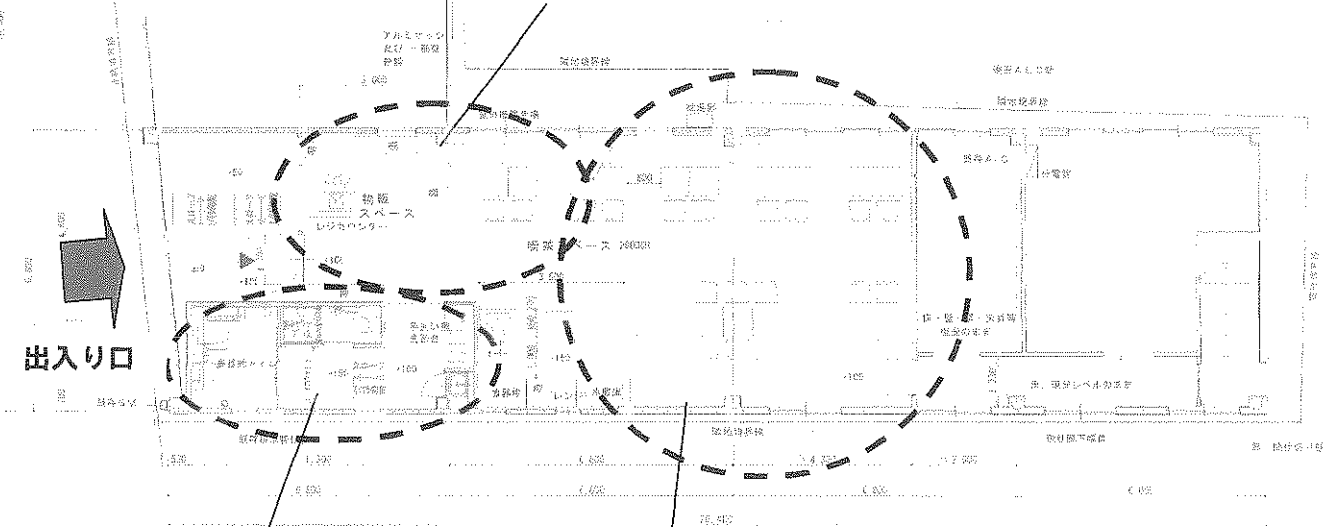
対象面積 (1F)	181.76 m ² (54.9 坪)
サロン予定面積	107.32 m ²
その他	57.46 m ²

地積項目		
1F 床面積	277.66m ²	83.61坪
2F 床面積	176.60m ²	53.61坪
総床面積	454.26m ²	137.22坪
敷地面積	474.64m ²	143.21坪



- ☞ 作業所の作品、住民の作品の展示販売
- ☞ 鶴見の物産・お土産
- ☞ 地域の情報発信、情報交流の拠点

ショップ・情報コーナー



出入口

多目的トイレ

(ユニバーサルデザイン・トイレ)

交流スペース

(コミュニティ・カフェ)



- ☞ 車いす利用者、高齢者、乳幼児など誰でも使える快適トイレの整備 (西口には高架下に公衆トイレがあるだけなので、利用者は多いと考えられる)

- ☞ 車いす、ベビーカーの利用者も使いやすいスペースに!
- ☞ おいしいお茶が飲めます!
- ☞ あたたかい雰囲気デザインのデザインに!